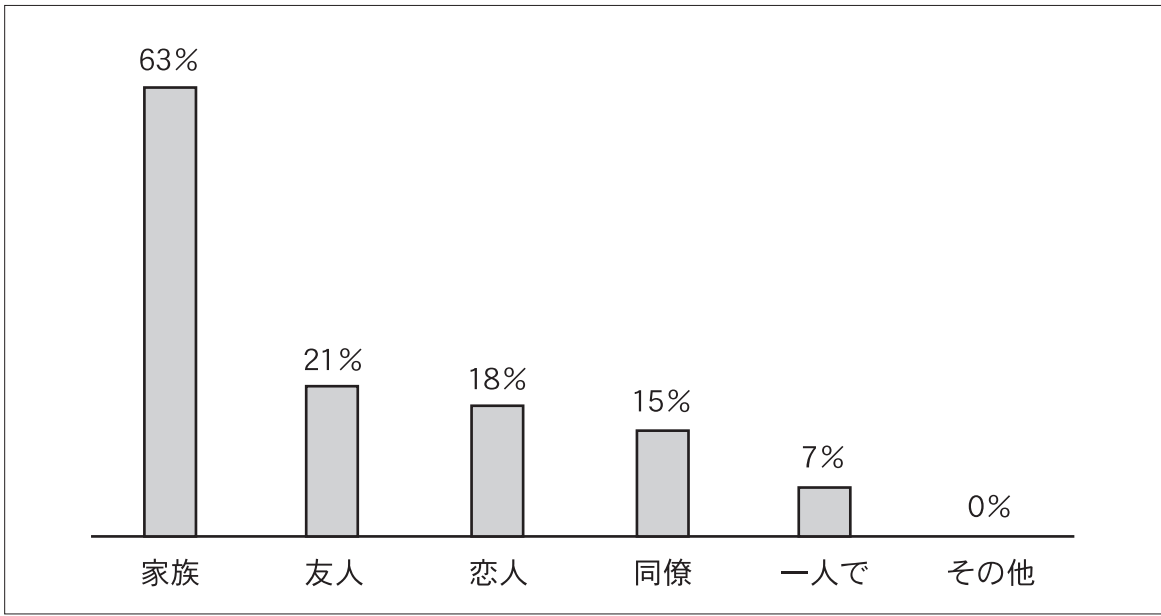


日本食に興味、温泉は泉質・効能で選ぶ

Q5 誰と一緒に日本へ訪れたことがありますか。当てはまるものを全てお選びください (複数回答)



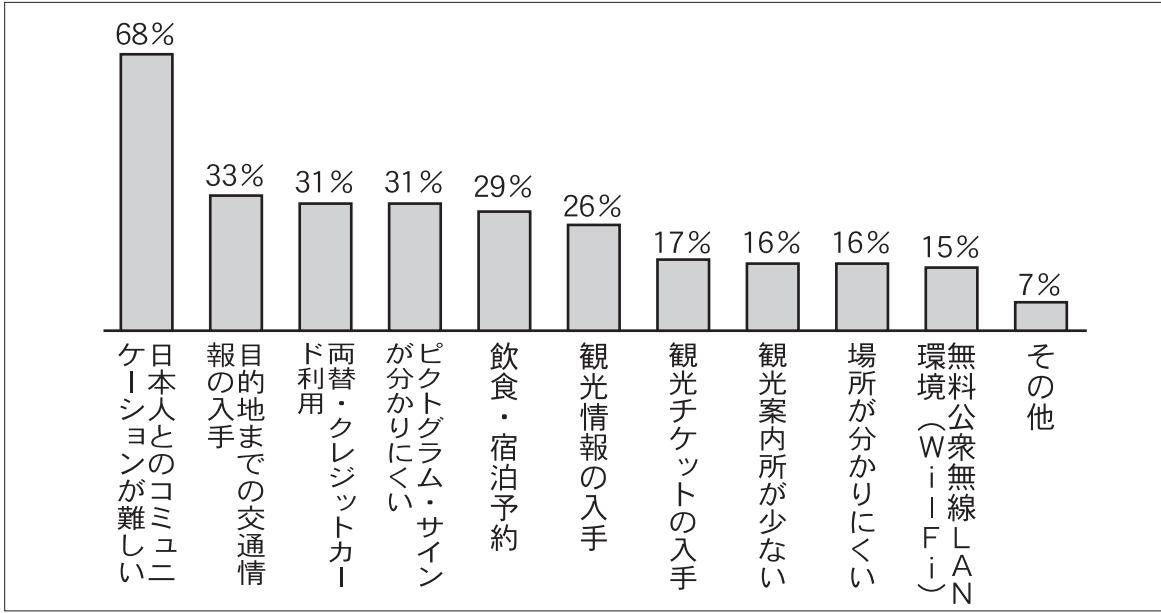
日本旅行への同行者は「家族」が63%と最も多い。家族と答えた比率は男性が60%、女性が66%。年齢層別では20歳未満が58%、40歳以上が85%と、高齢層ほど高率になる。

本社とD Iマーケティングが調査

観光経済新聞社と調査会社のD Iマーケティングはこのほど、インドネシア、ベトナム、タイの一般消費者を対象に、旅行と温泉に関する調査を行った。今回は第3弾としてベトナム編を取り上げる。調査によると、98%が日本を観光で訪れたいとの意向で、訪れたい理由のトップは「日本食」。また99%が日本の温泉に興味があると回答し、行く温泉を決めるポイントは「泉質・効能」、温泉に行く際の不安は「言語」が最も多くなっている。

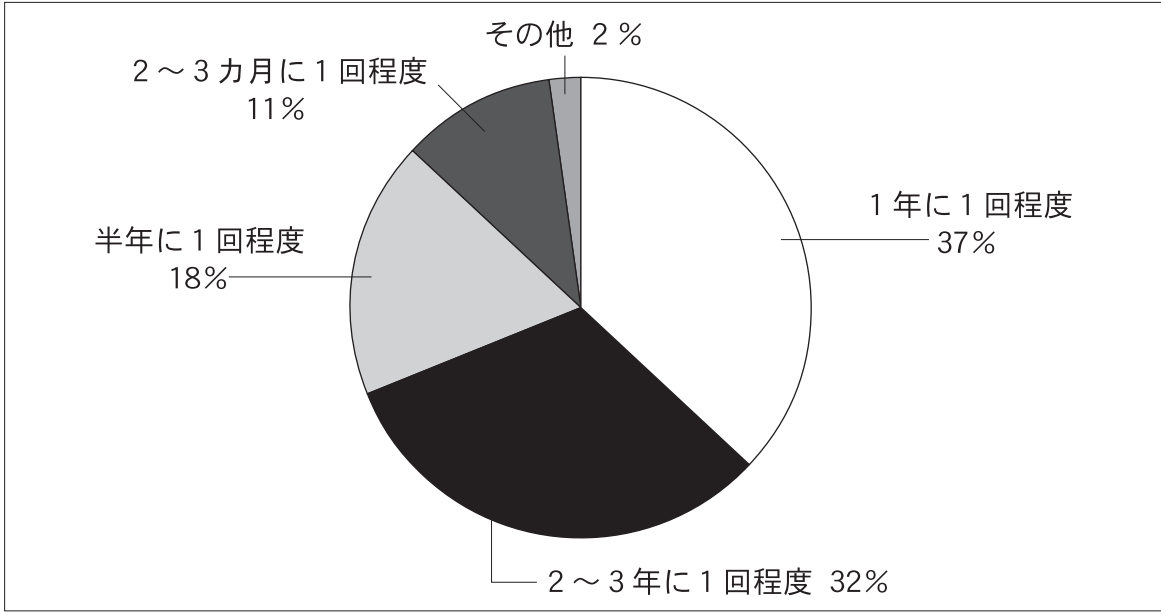
【調査概要】
インターネットによるアンケート調査。今年3月6日から1週間で500人が回答。
【回答者属性】
性別＝男性50%、女性50%
年齢＝15歳以下0%、16～19歳5%、20～24歳21%、25～29歳33%、30～34歳21%、35～39歳10%、40～44歳7%、45～49歳2%、50～54歳1%、55～59歳1%、60歳以上0%
居住地＝サウスイースト38%、レッドリバーデルタ28%、ノースイースト13%、サウスセントラルコースト6%、メコンリバーデルタ6%、ノースセントラル5%、ノースウエスト2%、セントラルハイランド2%
職業＝オフィスワーカー35%、自営業27%、エンジニア・医師・教師10%、大学生8%、公務員7%、パートタイム3%、工場勤務2%、高校生2%、主婦1%、農家1%、求職中・定年退職1%、漁師0%、その他3%
世帯月収＝200ドル未満0%、200～450ドル5%、451～700ドル9%、701～1000ドル25%、1001～1499ドル20%、1500～1999ドル16%、2000～2499ドル13%、2500～2999ドル4%、3000～3499ドル2%、3500～4000ドル1%、4000ドル超4%、分からない0%

Q6 日本旅行中に困ったこと、不満だったことについて当てはまるものを全てお選びください (複数回答)



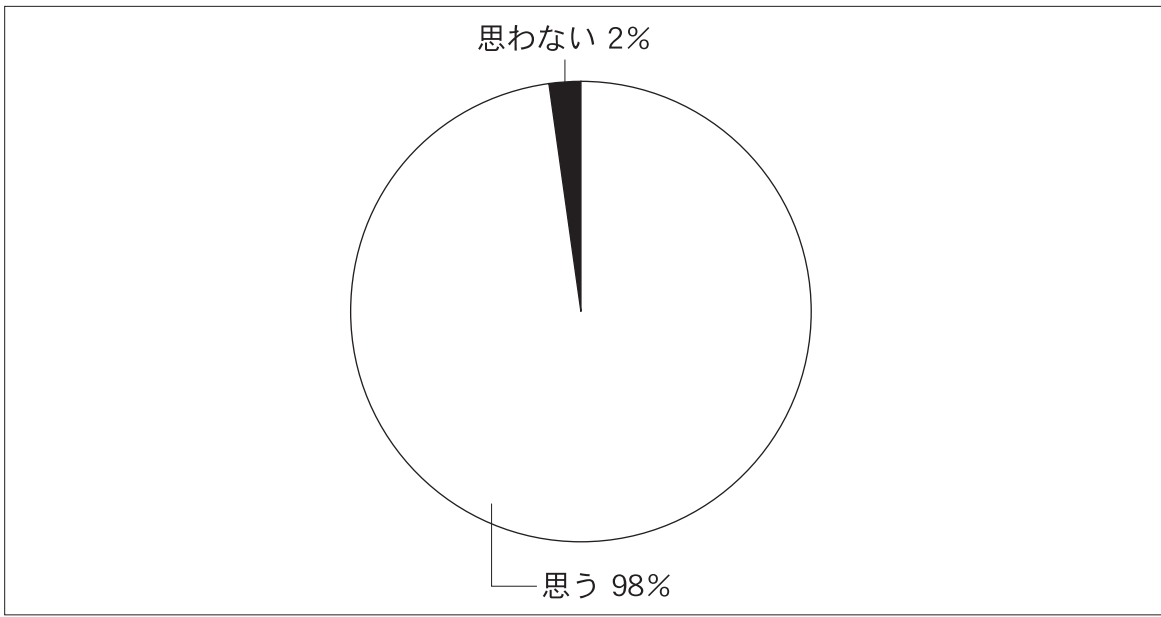
困ったこと、不満だったことを複数回答で挙げてもらったところ、日本人とのコミュニケーションが68%と、他を大きく引き離して最も多かった。インドネシア人、タイ人への調査でも64%、39%と最も多かった。

Q1 海外旅行へ行ったことがある方へお伺いします。どれくらいの頻度で海外旅行へ行きますか



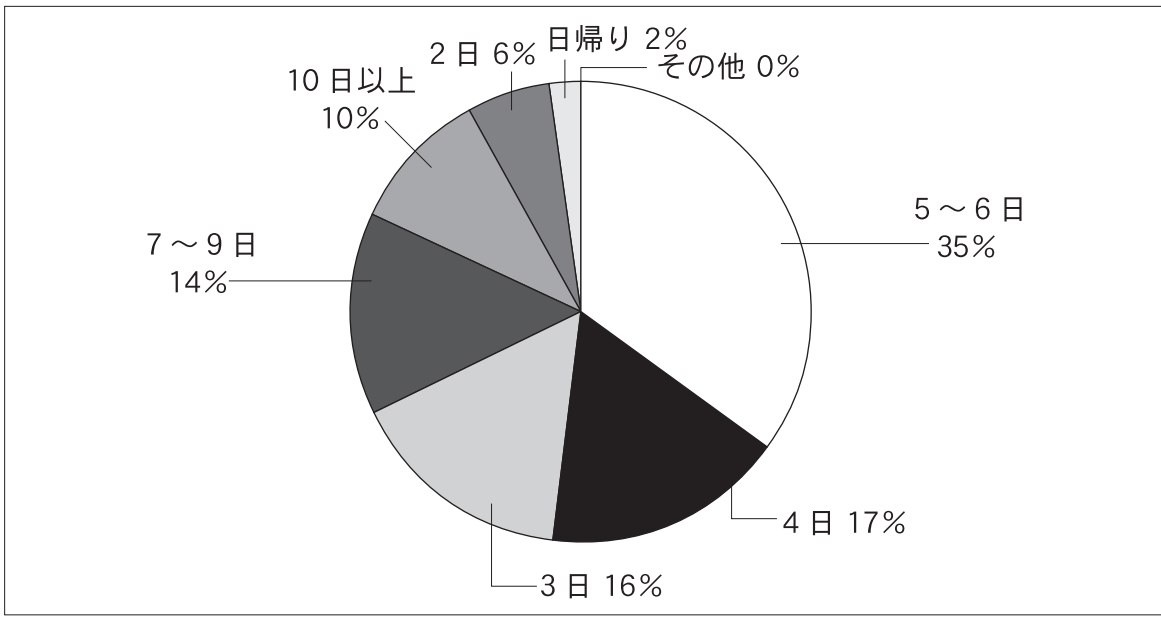
「海外旅行へ行ったことがある」と回答したのは100%。このうち、どれくらいの頻度で行くかを聞いたところ、「1年に1回程度」が37%と最も多かった。次が多いのは「2～3年に1回程度」で32%。

Q7 あなたは今後日本に観光で訪れたいと思いますか



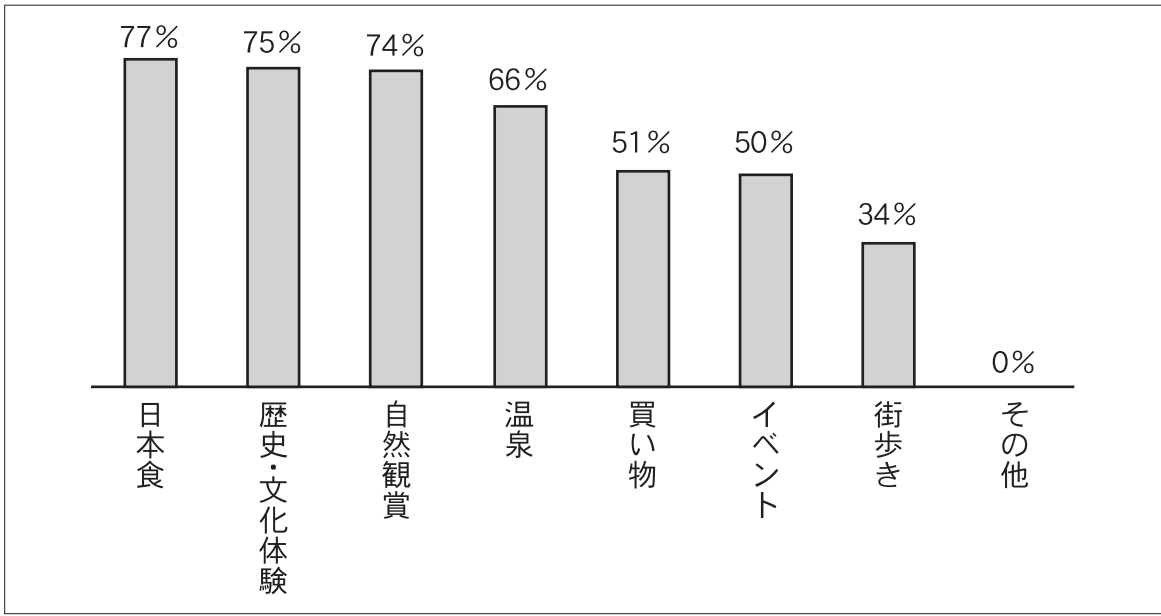
「思う」と答えた人が98%と圧倒的に多かった。男性が98%、女性が99%とともに多く、年齢層別では20歳未満が100%、20代が99%、30代が98%、40歳以上が96%と、若い年代ほど訪問への意欲が高くなっている。

Q2 海外旅行へ行く場合の日数について一番多いものをお答えください



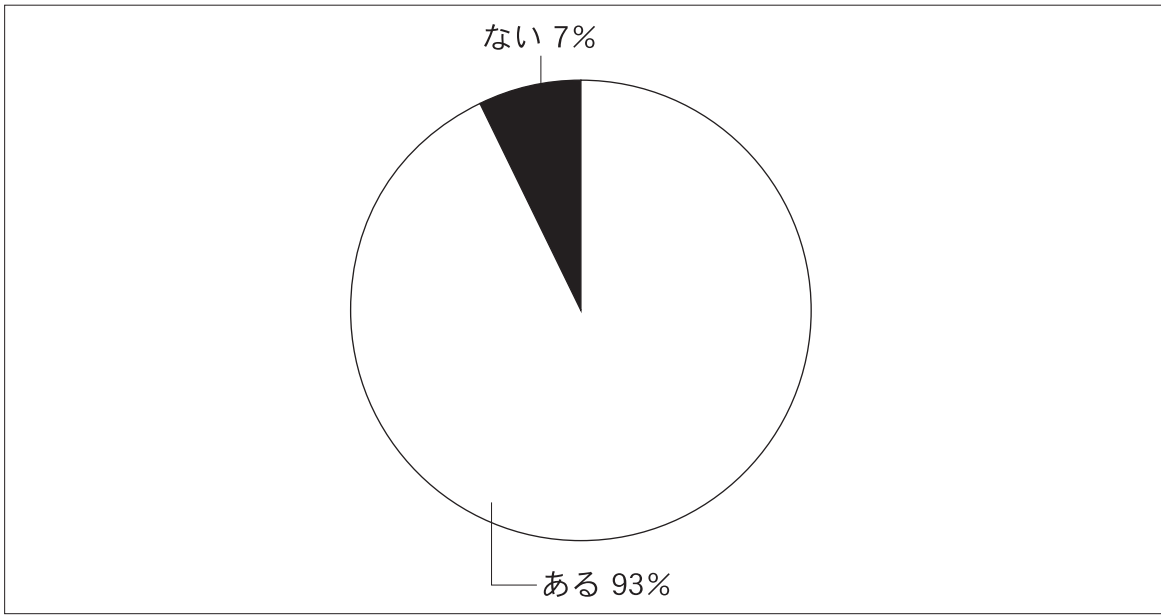
海外旅行へ行く場合の日数で一番多いのは「5～6日」で、約3分の1を占めた。以下、「4日」「3日」「7～9日」などの順。「10日以上」の長期旅行は10%、「日帰り」も7%あった。

Q8 日本に観光で訪れたいと思う方へお伺いします。日本に訪れたい理由について、当てはまるものを全てお答えください (複数回答)



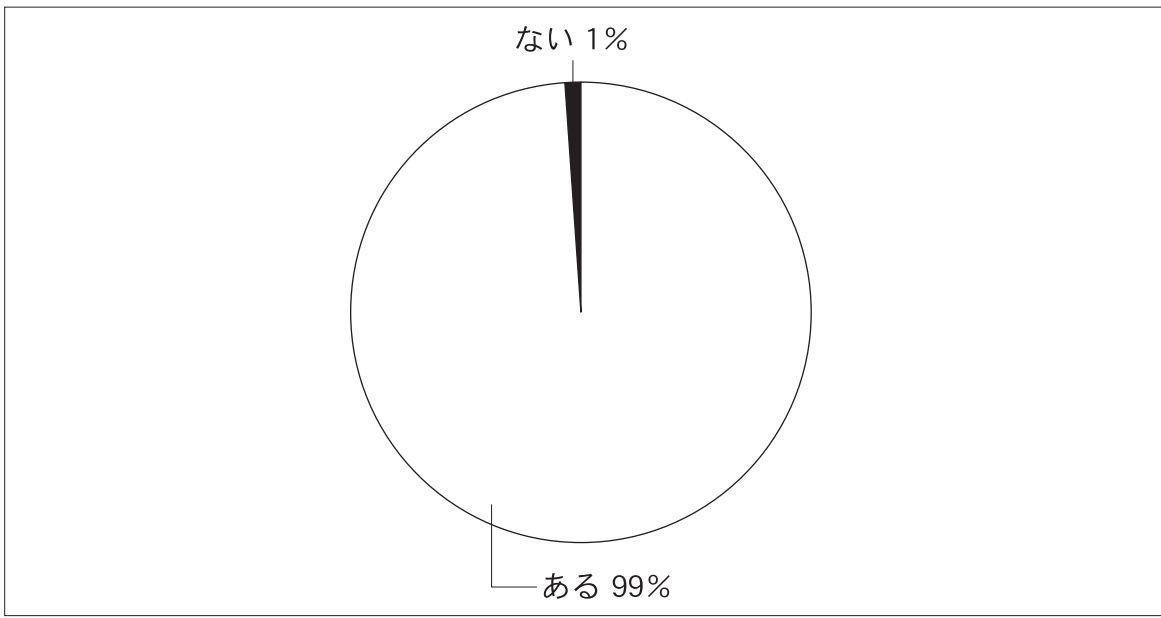
「日本を訪れたい理由」として、最も多く挙げたのは「日本食」で、77%が回答した。「歴史・文化体験」「自然観賞」も高い比率となっている。「温泉」も66%と半数以上の人が挙げている。

Q3 あなたは日本に観光で訪れたことがありますか



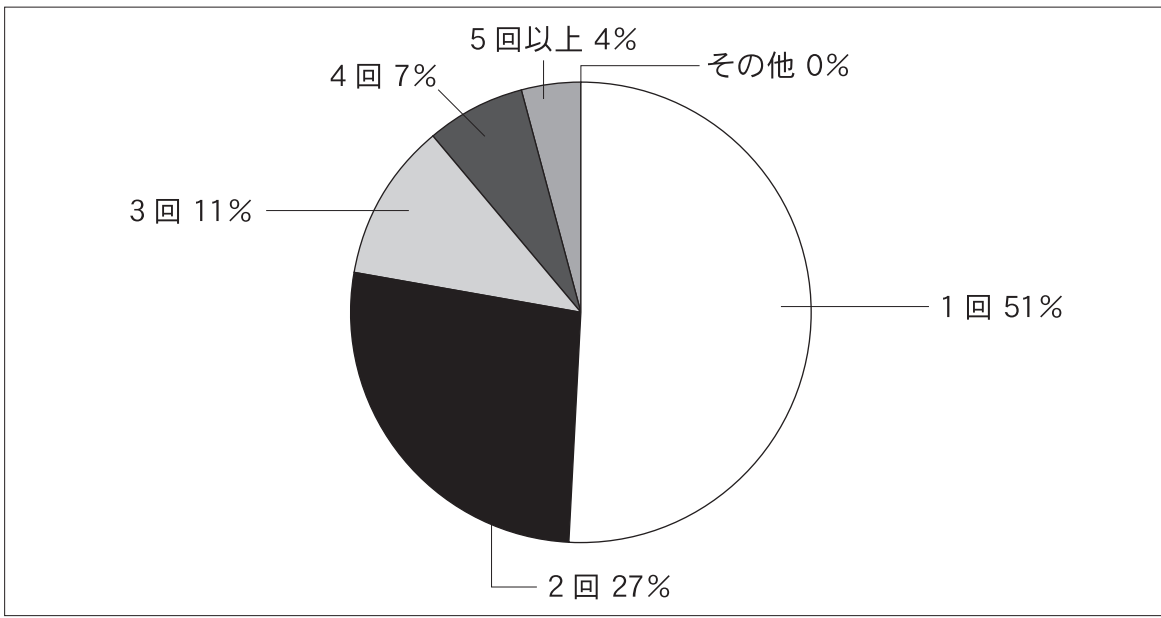
日本に観光で来たことがある人は93%とかなり高い比率だ。男女ともに93%で、年齢層別では30代が100%、20代が93%、20歳未満は89%、40歳以上が73%と、平均に比べて低い。

Q9 あなたは日本の温泉に興味はありますか



99%と、ほとんどの人が日本の温泉に興味があると回答した。性別では女性、年齢層別では20歳未満と30代で全てが興味ありと回答。世帯年収別でも、その高低を問わず、全ての層で高い比率となっている。

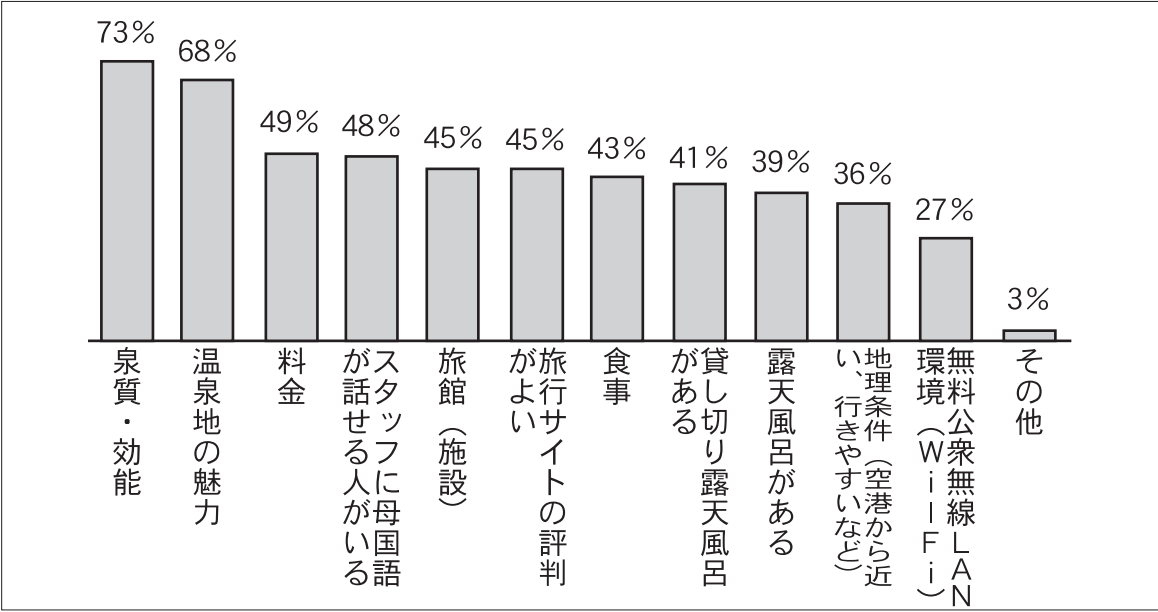
Q4 あると答えた方へお伺いします。何回訪れたことがありますか



日本への旅行経験者に、その回数を聞いたところ、「1回」がほぼ半数を占めた。残りの約半数がリピーターだ。「5回以上」というハードなリピーターは4%。男女差はあまり見られず、年齢層別では20代が5%と比較的多い。

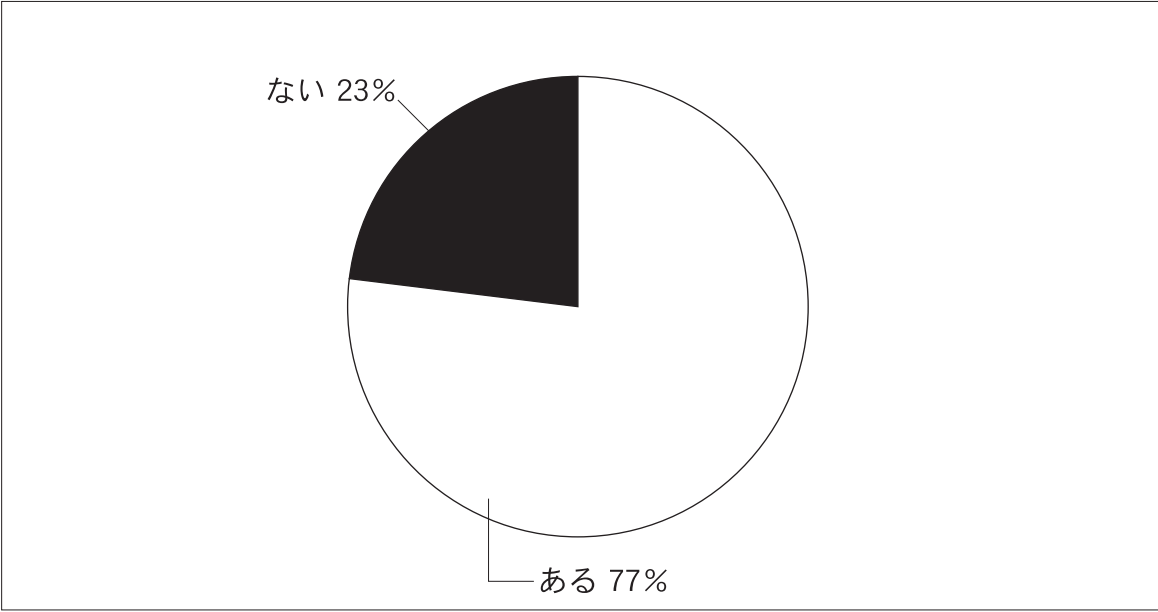
ベトナム人の98%「日本を観光したい」

Q15 行く温泉を決めるポイントはどこですか。当てはまるものを全てお答えください (複数回答)



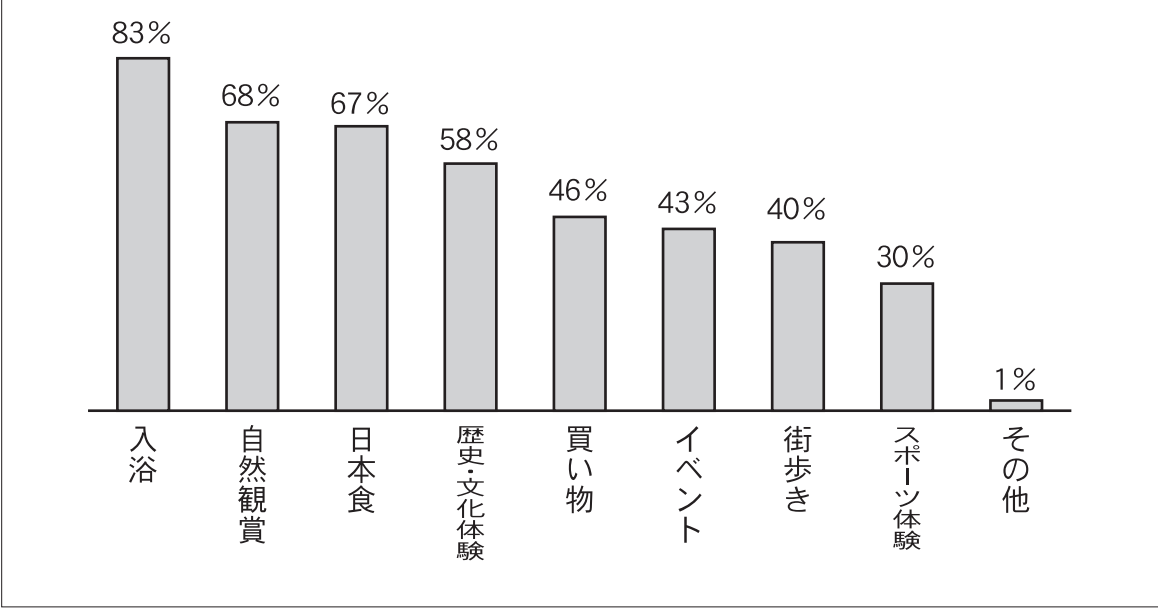
「泉質・効能」「温泉地の魅力」がそれぞれ73%、68%と多い。男女差はほとんどないが、年齢層別では、20歳未満で温泉地の魅力、20代、30代、40歳以上で泉質・効能がトップとなる。

Q10 あなたは日本の温泉に行ったことがありますか



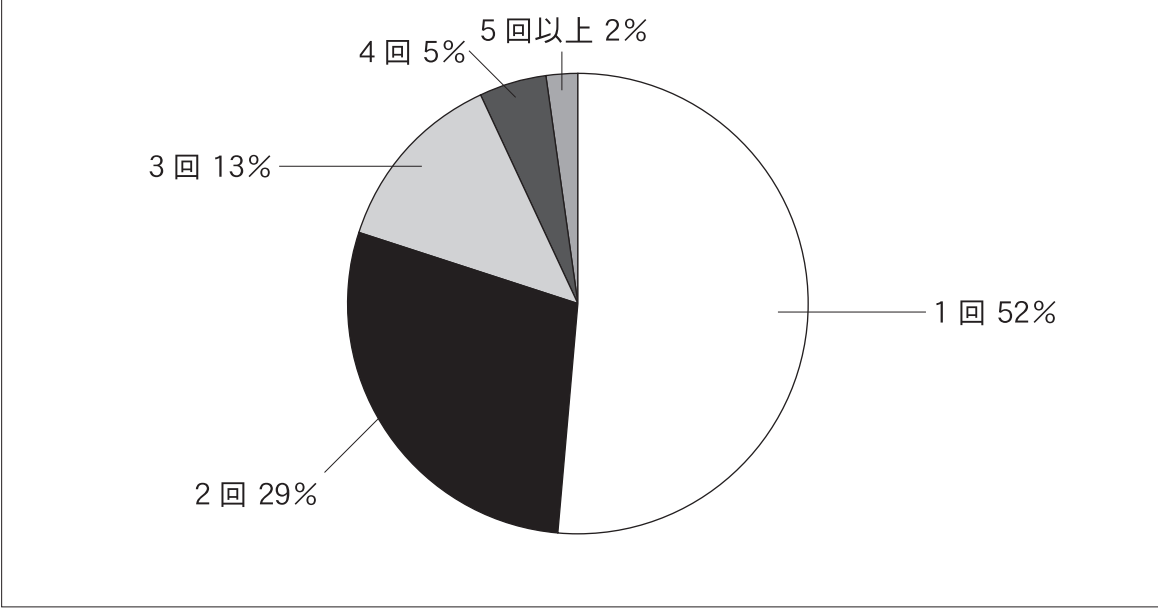
日本の温泉に実際に行ったことがある人は77%と、およそ4人に3人。男女とも同じ77%で、年齢層別では30代の85%が最も高い比率だ。インドネシア人とタイ人の調査ではそれぞれ58%、66%だった。

Q16 温泉街へ行ったら何をしたいですか。当てはまるものを全てお答えください (複数回答)



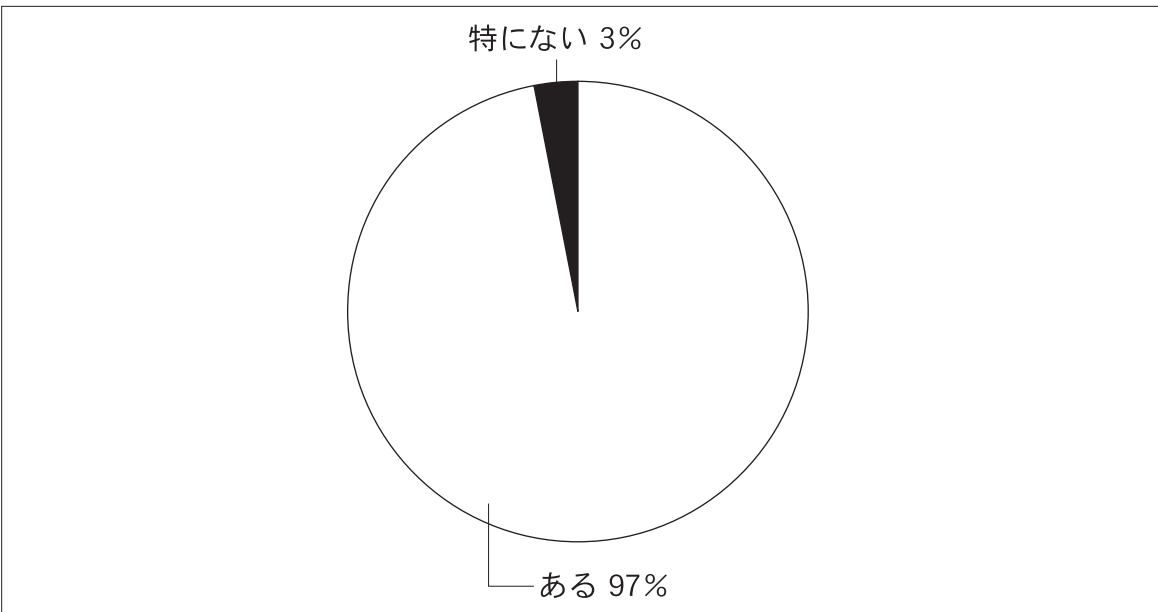
「入浴」が83%とトップで、「自然観賞」「日本食」「歴史・文化体験」が2番手〜4番手。40歳以上は入浴が89%と最も多いが、日本食が80%と数字が大きく跳ね上がる。

Q11 あると答えた方にお伺いします。訪問回数をお答えください



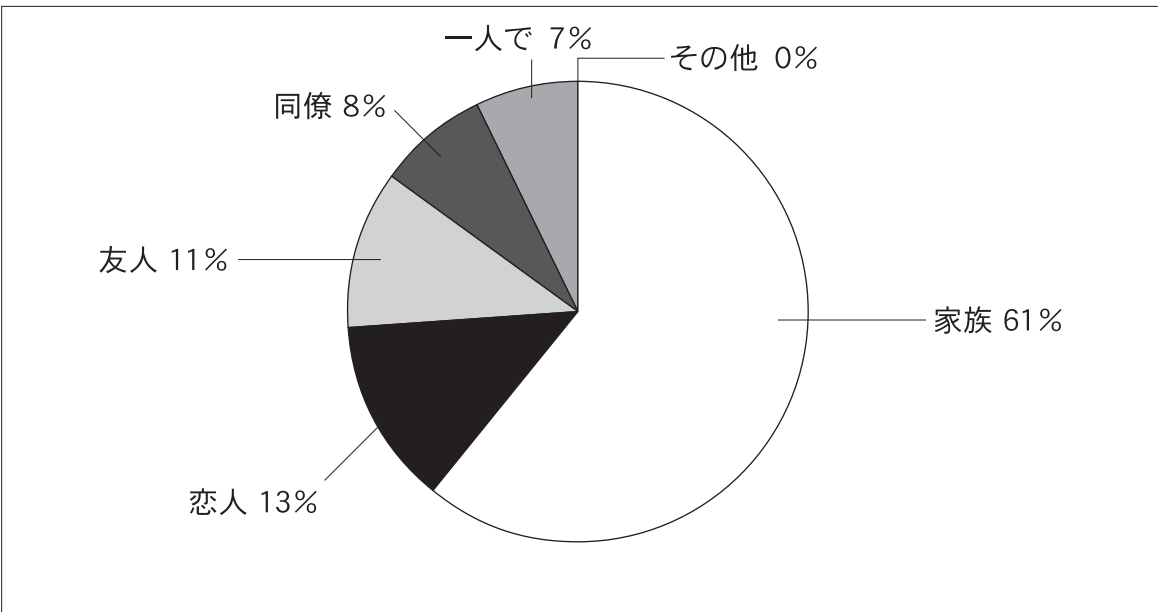
訪問回数は「1回」が52%と約半数。「2回」が29%とおよそ3人に1人だ。約半数が2回以上のリピーター。「5回以上」と答えた人は2%で、20代と40歳以上が3%と比較的多くなっている。

Q17 行きたい温泉はありますか



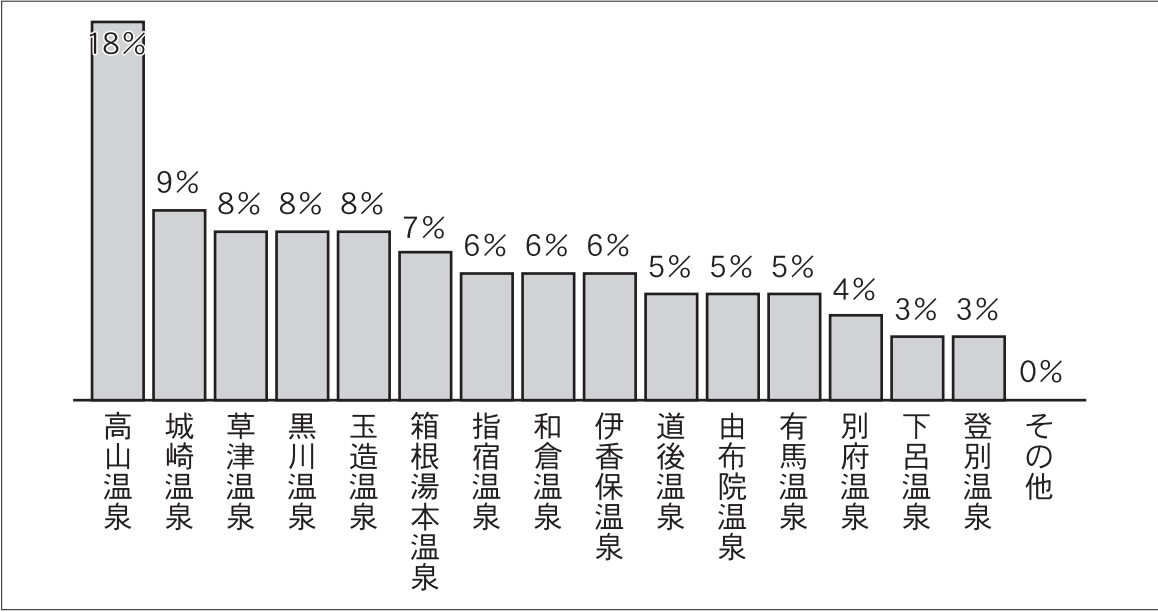
97%と、ほとんどの人が「ある」と回答した。特に30代が99%、40歳以上が100%と、高齢層になるほど回答率が高くなっている。インドネシア人、タイ人への調査では、それぞれ84%、100%だった。

Q12 温泉へ行ったことがある方へお伺いします。誰と行きましたか



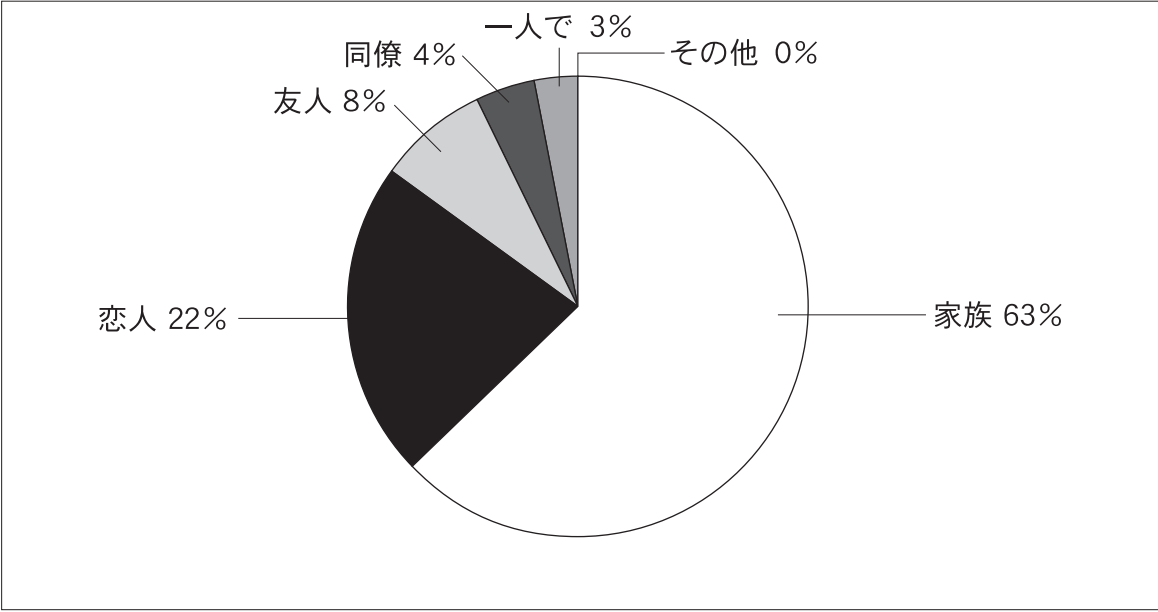
温泉への同行者は「家族」が61%と最多。以下「恋人」「友人」の順。家族は女性が65%、男性が56%と差が見られる。「二人で」は7%と少数だが、男性が11%、女性が3%と、さらに大きな差が見られる。

Q18 あると答えた方にお伺いします。どの温泉に行きたいですか



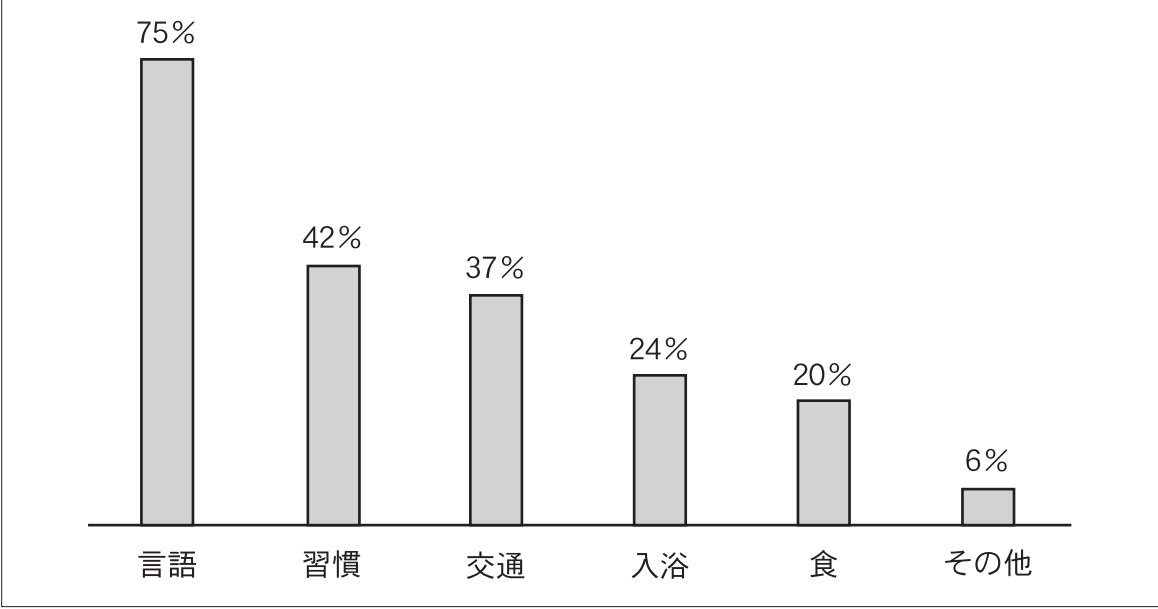
「高山温泉」が最も多かった。高山は男女とも1位で、2位は男性が「箱根湯本温泉」、女性が「城崎温泉」。3位は男性が城崎、女性が「草津温泉」。年齢層別でも高山が全ての層で1位だが、「和倉温泉」が40歳以上2位に。

Q13 温泉に行ったことがない方へお伺いします。誰と一緒に行きたいですか



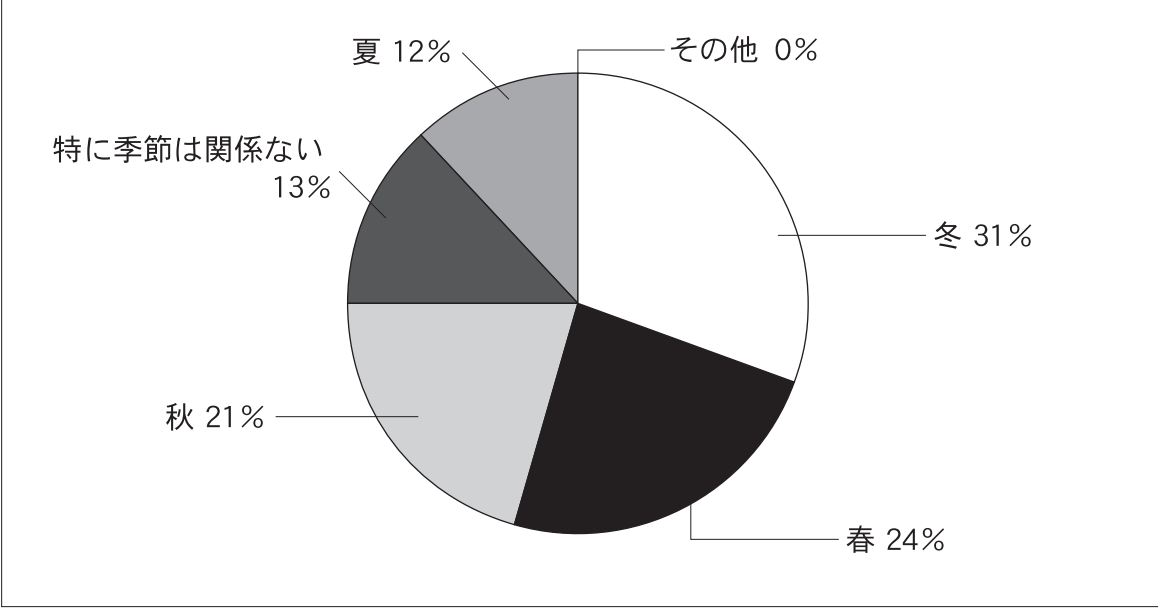
「誰と一緒に行きたいか」では、前の質問同様「家族」が最も多く、63%を占めた。大きく差が開いて2位が22%の「恋人」。さらに差が開いて3位が8%の「友人」。前問に比べて恋人の割合が増えているのが目立つ。

Q19 温泉に行く際に不安なことはありますか。当てはまるものを全てお答えください (複数回答)



「言語」が75%と最も多かった。以下、「習慣」「交通」などの順。インドネシア人、タイ人への調査でも「言語」がそれぞれ71%、72%と1位だった。顧客の不安解消するため、言葉の障壁を取り除く施策が求められる。

Q14 温泉に行きたくなる季節はいつですか



「温泉に行きたくなる季節」は「冬」が最も多く、31%以下、「春」「秋」などの順。インドネシア人、タイ人への調査も冬が最も多かったがそれぞれ42%、61%だった。今回は冬、春、秋が拮抗している。